

主な変更点

第1編 はじめに

○市民意見の掲載 P13-21

【現行計画】 市民意識調査、市民会議

【次期計画】 市民意識調査、市民ワークショップ、若者会議、こどもアンケート

第2編 基本構想

○「まちづくりの基本理念」の「人とつながりのあるまちへ」 P24

【現行計画】 市民・事業者・行政がつながり、協働でまちづくりに取り組むことで、複雑化・多様化している課題を解消し、さらには、「人」と「まち」が一緒に育つことで、愛着あるまちづくりを進めます。

【次期計画】 市民・事業者・大学・行政など多様な主体がつながり、協働でまちづくりに取り組むことで、複雑化・多様化している課題を解消し、さらには、「人」と「まち」が一緒に育つことで、愛着あるまちづくりを進めます。

○将来人口の再推計を実施 P26

【現行計画】 推計期間：平成 27（2015）年から令和 47（2065）年まで

展望人口：令和 27（2045）年に合計特殊出生率が 2.07 になると仮定して推計

【次期計画】 推計期間：令和 2（2020）年から令和 52（2070）年まで

展望人口：令和 32（2050）年に合計特殊出生率が 1.80 になると仮定して推計

第3編 基本計画

○指標の設定方法 P44～

【現行計画】 テーマ（中項目）単位 : 30 指標

【次期計画】 主な事業・取組単位 : 約 150 指標

○記述の見直し P44～

各テーマと紐づく施策の「現況と課題」「取組の方向」「主な事業・取組」について、社会情勢の変化等、前期計画の内容から変化した事項の見直しを全体的に実施した。各担当課と事務局で調整を行い後期計画（案）に反映した。※以下のページに変更点を例示する

■まちづくりの基本方向1 明日を担う人が育つまちづくり

テーマ1 施策3 就学前保育・幼児教育の充実

●おむつのサブスクの実施

従来は保育所の設備充実、保育の質に関する施策を進めてきたが、保護者の負担軽減の観点から「主な事業・取組」に当該取組を新たに記載した。

テーマ1 施策4 こどもの遊び場・居場所づくり

●こどもの居場所

従来は放課後児童クラブやこどもの遊び場に関する記載しかなかったが、こども家庭庁の発足をうけて、「こどもの居場所づくり」に関する記述を加えた。

テーマ1 施策6 児童虐待の防止

●社会的養護

保護者の適切な養育が受けられない、「社会的養護」を必要とするこどもに関する記述を加えた。

●養育に困難を抱える家庭への支援

従来、児童虐待について「予防」のみであった記述に、「再発防止」の観点を加えた。
※保護された児童への対応は児童相談所（埼玉県）が所管

テーマ2 教育全体

国・県の教育振興基本計画を踏まえ、施策の構成の組み替えを行った。なお、施策の内容について大きな変更はない。

テーマ3 施策2 ニート・ひきこもり対策、ヤングケアラー支援

●ヤングケアラー

従来、ニート・引きこもり対策に関する記載しかなかったが、ヤングケアラー支援についての記載を追加した。

■まちづくりの基本方向2 人生が楽しめるまちづくり

テーマ1 施策2 感染症対策の継続的な実施

●新型コロナウイルス感染症

特記することをやめ、感染症対策全般の記載に含めることと整理した。

テーマ1 施策4 介護予防事業の推進及び健康づくり

●健康ポイントアプリ（あげお健康+（ぷらす））

■まちづくりの基本方向3 支え合う安心なまちづくり

テーマ2 施策1 地域包括ケアシステムの推進

全体的に記述・構成の整理を行った。

■まちづくりの基本方向6 未来に引き継ぐ環境と共生するまちづくり

テーマ1 施策1 良好なまちづくりの推進

全体的に記述・構成の整理を行った。

■まちづくりの基本方向7 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり

テーマ1 施策4 企業立地

従来の「土地利用」から「産業」に位置付ける分野を変更した。

■まちづくりの基本方向8 持続可能な都市経営

テーマ2 施策2 DXの推進・情報技術の活用

従来の情報技術に関する「ICT」などの記述に、「DX」に関する記述を追加した。